

社会福祉法人 進和学園

いのちの森づくり基金御中

活動報告書

活動名	学校法人雲柱社 松沢幼稚園「土のがっこう」
活動日時	2024年9月9日（月曜日）9：30～11：00
活動場所	松沢幼稚園園庭（東京都世田谷区上北沢3-8-19）
活動人数	園長・先生・講師3名・子ども27名・父兄4名
活動目的	<p>かつて、落ち葉は畑にすき込んだり、土地の肥やしに利用された時代がありました。今はゴミとして扱われ、嫌われた存在となっています。</p> <p>落ち葉を土に還すことで、ダンゴムシなどの小さな生き物たちの餌となり、ゆっくりと分解され、養分豊かなしっとりした土ができ、そしてその養分をまた植物たちが利用し成長する。</p> <p>落ち葉は姿や形を変えながら、人知れず、生き物、植物たちの命をつないでいることを、幼木苗の植え替えを通じて子供たちと学びます。</p>
活動内容	幼木苗（ナンテン・マンリョウ・ヒメヒイラギ・ヤマモミジ）の植え替え。 植え替え用の土づくり（園で作った腐葉土、落ち葉、切り藁を混ぜたもの）。
活動の成果	<p>幼稚園の環境教育に関わるようになり感じることのひとつに、土や落ち葉に触れることに抵抗があったり、手が汚れることを極端に嫌う子供が多いということがあります。</p> <p>『つちのがっこう』では子供たちに素手で土に触れてもらうことで、五感で何かを感じてもらうことを意識して取り組んでいます。今回は園児たちに腐葉土、落ち葉、切り藁を素手で混ぜ、土づくりを体験してもらいました。</p> <p>子供たちに土が汚いものと感じ取られないように、先生や講師も軍手はつけず、素手で作業するようにしています。</p> <p>土づくりがスタートすると、最初はスコップを使ってできるだけ土に直接触</p>

れないようにしていた子供たちも、「手のスコップでまぜまぜしてみようか。」と声掛けに工夫をしてみたり、「腐葉土の中にはどんな生き物がいるかな？」と生き物探しをしてみたり、あそびの延長のような場の雰囲気を作ってあげることで、最初は恐る恐るだった子供たちも次第に素手で土に触れるようになり、最後は土づくりと幼木苗の植え替えまで行うことができました。

今回の学びの中で、土に触れることは抵抗があるけれど、ミミズやカナブンの幼虫に触ることには抵抗がない子どもたちが一定数いました。幼稚園では生き物は宝石のようなものと教えられているそうです。宝石のような生き物たちが落ち葉を食べて、うんちを出し、それが土に混ざって栄養になり、苗木たちは根っこから栄養をとっているということ、『落ち葉と生き物は仲良しなんだよ』ということも少しは感じてもらえたんじゃないかと思います。